

特集 2 構造改革特区

2002 年

7. 3	「特区」構想の事務局、「構造改革特区推進室」が5日に発足	7. 3	NM2
7. 3	「特区推進室に民間人起用を」規制改革会議	7. 4	AN4
7. 4	規制特区に通則法。改革会議最終案明らかに。省庁の抵抗抑制狙う	7. 5	AM2
7. 8	「特区」巡り官民激突。民間、規制緩和に絞り込み。省庁、税制優遇措置も視野	7. 8	AM2
7. 8	規制改革、「特区」財政支援せず。自治体主導を明記。中間報告最終案	7. 9	YM1, 4
7.11	地方主導/特区構想。パラマキ型振興から脱却、「抵抗」排除が実現のカギ(政治部)	7.11	YM13
7.11	京都の町並み保全対策、「再生特区へ措置法を」。制定へ教授ら国会議員調査	7.11	AM4
7.11	物流や教育...特区様々。総合規制改革会議、自治体提案明らかに	7.12	AM4
7.12	医療への株式会社サンユウ論議、利点と弊害、特区で実験を(ニュースなるほど)	7.12	NE3
7.16	国が設置方針、経済特区。規制緩和で地域活性化。自治体が独自計画、2003年度中に指定へ(ネット&マネー)	7.16	YE6
7.18	「特区」実現へ推進本部設置。首相主導	7.19	NM1
7.19	特区法案、臨時国会提出へ。政府、早期導入めざす。与党も推進、省庁は抵抗	7.20	NM2
7.22	(主張・提言)構造改革特区/吉川洋氏・東大大学院教授、持続的な成長生む手段。太田房江氏・大阪府知事、「元氣」の発進は大阪から。宮脇淳氏・北大教授、地方分権と同時進行で	7.22	YM11
7.23	官の64事業開放を明記。規制改革会議中間とりまとめ決定。特区実現へ基本法。霞が関の反論併記	7.24	NM1 AM1, 4 MM1, 3
7.23	規制改革特区、地方主導で。中間まとめ	7.24	TM3
7.24	規制改革/経済活性化へ「特区」実現を急げ(社説)	7.24	YM3
7.24	改革特区/官僚任せではだめだ(社説)	7.24	AM2
7.24	経済活性化へ規制改革のアクセス踏め(社説)	7.24	NM2
7.25	規制改革/「特区」は先兵にすぎない(社説)	7.25	TM4
7.25	規制改革/「特区」を逃げ道にするな(社説)	7.25	MM5
7.26	『構造改革特区』推進本部を設置。政府、本部長に首相	7.26	TE2 NE1 AE1
7.26	改革特区に地方提案。推進本部、来月30日まで受け付け	7.27	TM9
7.27	(時論)デフレ克服に地域通貨/加藤敏春・国際大学教授。構造改革特区で活用を	7.27	NM25
7.28	「構造改革特区」で不協和音。自民、財政支援。省庁、規制維持狙う	7.28	YM4
7.29	(規制破壊/動き出した特区-上-)自治体「争鳴」。構想百出、破れるか権益	7.29	NM1
7.30	財源いらない/経済活性化・地域振興策...動き出す規制緩和特区、構想具体化へ思惑は様々。「権限縮小」と省庁抵抗。補助金ばらまきの動き	7.30	AM13
7.30	(規制破壊/動き出した特区-下-)都市再生、競い合い。投資誘導、問われる戦略	7.30	NM1
8. 3	石原行革相、見解を表明。構造改革特区なら優遇「地方税なら可能」	8. 4	YM4
8.13	横須賀IT、相模原は農業。特区構想概要まとめる	8.13	NM27
8.17	農業・教育・雇用など、国主導の特区創設。自民委原案、明らかに	8.17	NM1
8.21	構造改革特区構想、自治体名乗り相次ぐ。省庁・族議員に強い抵抗感	8.21	MM5
8.21	志木市、初の市民教員構想。「構造改革特区」教育分野で指定を申請へ。無免許でも教壇に	8.22	TM30
8.23	「特区構想」思惑錯そう。自民、税・予算の優遇を。政府、規制緩和が中心	8.23	NM2
8.28	特区4構想、埼玉申請へ。産学連携や農業	8.28	NM31
8.28	構造改革特区、通則法案提出へ	8.28	AE1
8.29	改革特区、省庁、権限維持狙う。自治体から反発必至	8.30	YM4
8.29	改革特区、期待が先行。全国の自治体、構想130超す。臓器移植や英語教育。乱立で調整難題に。臨時国会に法案提出。財政支援、政府は慎重	8.30	NM3
8.29	特区構想に抵抗?省庁回答。「困難」「保留」8割	8.30	YM2
8.30	都心再生など3特区案提出。千代田区	8.31	NM35

2002年

9. 4 改革特区に省庁一斉反論。パート雇用期間延長...厚労省「ダメ」。株式会社が学校経営...文科省「ダメ」。検討76件、うち20件「困難」 9. 5 AM4
9. 6 「改革特区」提案426件に。地域限定規制緩和、法制定など推進へ 9. 7 MM13
AM2
9. 6 特区構想、都内は26件提案。14自治体、生活・教育など中心 9. 7 NM35
9. 7 特区構想、全国から426件。子育て・外国語で活性化。ユニークさ競う。来月上旬に選定基準 9. 7 NM4
- 9.15 構造改革特区 / 規制不要を実証してみせろ (社説) 9.15 MM5
- 9.16 構造改革特区、内閣で決定一元化。政府方針案、省庁抵抗排除狙う 9.17 YM1,4
- 9.20 経済特区、財政支援せず。推進本部が基本方針。内閣に作業一元化 9.20 NE2
- 9.20 内閣の主導で改革特区導入。推進本部が基本方針 9.21 AM4
MM11
- 9.24 「構造改革特区」医療への導入反対。日本医師会 9.24 YM27
- 9.25 医療・教育、株式会社参入認めず。構造改革特区で省庁見解 9.25 NE1
- 9.25 改革特区、省庁の賛成1割。自治体案の回答を公表。官僚反発、浮き彫り 9.26 AM4
NM7
- 9.25 特区構想省庁見解、不満の声広がる。都など改革を再要請へ 9.26 NM37
- 9.27 特区提案を門前払いするな (社説) 9.27 NM2
- 9.27 「特区」に絶句、医師会猛反発。規制改革会議との意見交換会で火花。医療の株式会社参入などで。JAも 9.27 AM4
- 9.27 幼稚園、2歳から。特区に限り、文科省方針 9.27 AM3
- 9.30 改革特区、「規制見直し可能」1割。省庁抵抗で具体化難航 9.30 YM4
10. 1 特区使い雇用創出。国交相表明 10. 2 NM5
10. 3 医療・教育、株式会社参入を推進。鴻池特区担当相が表明 10. 4 NM5
10. 6 構造改革特区 / 抵抗に屈せず導入を加速せよ (社説) 10. 6 YM3
10. 6 (競争加速 / 転機の教育) 教育特区 / 「脱画一化」各地でうねり 10. 6 AM1,8
10. 7 改革特区、来年度実施へ 10. 8 AM2
10. 7 特区10種類提案。国主導、農業や雇用など。自民中間案 10. 8 NM2
10. 8 学校設立を容易に。文科相検討、構造改革特区に限り 10. 8 AE1
10. 8 農業への株式会社参入に「積極対応」、特区で農相 10. 8 NE2
10. 8 特区推進へ一括法。首相に認可権、88項目盛り。デフレ対策 10. 9 NM1,5
10. 8 首相「役人にごまかされるな」。厚労・農水・文科、3閣僚にカツ。改革特区推進で 10. 9 NM2
10. 9 特区認定は首相直轄。臨時国会法案提出。民間も提案可能に。デフレ対策 10. 9 TE1
10. 9 首相自ら特区認定。推進法案判明、基本方針策定も 10.10 YM4
10. 9 特区内の不登校対象施設、校地・校舎の借用OK。要件を緩和、文科省方針 10.10 AM37
10. 9 病院・学校経営、「株式会社」見送りへ。特区構想大臣折衝「営利目的」強い抵抗 10.10 AM1
- 10.10 特養老人ホーム、株式会社参入を容認。「特区」巡り厚労省方針。自治体関与が条件 10.10 AE2
- 10.10 農業特区創設へ。農水省、企業に遊休地貸与。取得は認めず。 10.11 YM11
MM11 NM7
- 10.10 企業の学校経営緩和。教育特区、専門職大学院など。文科省方針 10.11 YM2
- 10.11 病院・学校への株式会社参入、見送られる方向 10.11 NM7
- 10.11 特養参入は公設民営方式。厚労省 10.11 NM7
- 10.11 企業参入、医療・教育見送り。改革特区79項目決定 10.11 NE1,2
AE2
- 10.11 特区で試せ、(株)病院・学校(社説) 10.11 NM2
- 10.11 改革特区、小中高一貫教育を容認。文科省、英語での教科授業も 10.11 NE16
- 10.11 「改革の突破口」。特区構想、かけ声倒れ。結局は要望実現1割。教育と医療、役所が死守。首相「大臣にハッパ」だけ 10.12 AM4 NM4
YM15 MM5
- 10.11 特区項目決定、批判と評価交錯。都「厳しい」、八王子「歓迎」 10.12 NM31

構造改革特区

2002年

- 10.12 学校への株式会社参入 / 福井秀夫・政策研究大学院大学教授。「性悪説」で排除、根拠ない 10.12 NM26
- 10.18 特区法案、来月8日に決定 10.18 NE2
- 10.18 都市部に土地優遇税制。再生特区対象。取得・固定資産など。政府検討 10.19 YM1
- 10.18 特区法案、来月8日にも提出。鴻池担当相 10.19 AM4
- 10.20 医療特区 / 「病院会社」を試しては(社説) 10.20 AM2
- 10.21 特区法案、各省庁が「条件」。首相主導、骨抜き恐れ 10.22 NM1
- 10.22 改革特区推進、自民が了承。財政支援など要請 10.23 TM2 NM5
- 10.23 審議会主導への批判に「同調」。構造改革特区相 10.23 NE2
- 10.24 省庁に事実上の拒否権。特区法案概要、14の法律特例設ける 10.24 AM10
- 10.24 医療特区、患者にも恩恵。活力再生、アイデア多く。編集委員・大林尚 10.24 NM5
- 10.25 規制緩和進め地域を活性化。内閣府リポート 10.26 NM5
- 10.26 動き出した教育特区。15項目、小中高の一貫校。不登校生受け入れ…。株式会社の学校経営、営利目的、認めず 10.26 AM8
- 10.28 東京湾岸4都府市、特区で国に共同提案。規制緩和や融資など 10.29 NM35
TM30
- 10.29 構造改革特区 / 「一国二制度」を避けよ。連合・龍井葉二(私の視点) 10.29 AM11
- 10.29 港湾ふ頭を民営化。コスト削減、使用料下げ。国交省 10.29 NM5
- 10.30 構造改革特区法案を了承 10.31 NE2
- 10.31 特区法案、手直し小幅。省庁の裁量余地、狭める 11. 1 NM5
11. 1 構造改革特区法案5日提出 11. 2 TM9
11. 2 屋久島を水素特区に。プロジェクト来年始動。水力で製造・“輸出”。全島の車クリーン化 11. 2 TM3
11. 2 国内港、テコ入れ急ぐ。使用料下げや特区活用。アジア主要港、追撃狙う 11. 2 NE1
11. 4 学校づくり / 自治体の発想を育もう(社説) 11. 4 AM2
11. 5 構造改革特区法案、きょう国会提出。「一国二制度」実験始まる。破れるか権益の壁。官抵抗、見送り項目も 11. 5 TM9
11. 5 夜間の税関手数料半額。特区内、欧米並みに 11. 5 NM1
11. 5 特区見送り項目、引き続き検討。鴻池担当相 11. 5 NE2
11. 5 特区法案、閣議決定。14法律、一部地域で緩和 11. 5 AE2
NE1,2
11. 5 改革特区法案提出、省庁抵抗で“骨抜き”。経済効果は未知数 11. 6 YM4 AM4
11. 5 「足かせ」残るも「特区」一步前進。国会へ法案提出。病院・学校など課題に 11. 6 TM9
11. 6 特区、道路、政府系金融、小泉改革、視界不良。調整丸投げ手法に限界 11. 6 NM2
11. 8 特区の試み / 「株式会社」では駄目なのか(社説) 11. 8 NM5
11. 8 規制緩和の拡大目指す。特区法案で首相。衆院本会議で審議入り 11. 9 AM4 TM2
11. 9 改革特区法案 / 経済活性化に役立つか疑問だ(社説) 11. 9 YM3
- 11.10 特区の目玉、参入条件が壁。企業の特養参入、自治体表明なし 11.10 NM3
- 11.13 特区への株式会社参入巡り閣内対立。鴻池担当相「なお検討」 11.14 AM4
- 11.20 (眼)特区、壁だらけ。抵抗する省庁。英語で全授業 「国語能力習得に問題」。市職員週3日勤務 「非常勤ならば」 11.20 YE1
- 11.21 (問われる創需要 - 3 -)民間の力 / 改革特区、生みの苦しみ 11.21 NM5
- 11.21 特区法案、衆院通過。省庁抵抗、対象少なく。地方からあきらめの声 11.22 NM5
- 11.22 教育分野への株式会社参入、来年度導入を明記。規制改革会議第2次答申原案 11.23 NM2
- 11.24 規制改革会議答申原案、信用・共済、農協から分離を提言。特区評価へ新機関 11.24 NM1
- 11.24 (リレー討論 / 構造改革特区を生かす - 上 -)三重県知事・北川正恭氏 / 試される地方の自立。意識改革進め独白色を 11.24 NM18
- 11.24 農業特区 / 構造改革の名が泣く(社説) 11.24 AM2
- 11.28 次の矢に期待する構造改革特区(社説) 11.28 NM2
12. 1 (リレー討論 / 構造改革特区を生かす - 中 -)日本経団連常務理事・立花宏氏 / 自治体・企業が両輪で。ニーズ先取りした実験を 12. 1 NM18

2002年

12. 2 小学校から高校まで「英語授業」の一貫校。群馬・太田市が準備。幼児教室も 12. 2 AE14
12. 6 新潟県三条市の小中学校、教員独自採用へ特区構想。伝統の金物産業継承。指導職人、本業 12. 6 NE15
両立難しく（ニューウエーブ教育）
12. 8 （リレー討論／構造改革特区を生かす - 下 - ）日本経済研究センター理事長・八代尚宏氏／ 12. 8 NM18
現場の矛盾を法改正に。農業や教育でも手応え
- 12.11 構造改革特別区域法が成立。項目追加へ改正ねらう 12.12 NM5 MM5
YM4
- 12.11 改革特区法が成立。来夏にも初認定 12.11 NE2 ME4
TE2 AE2
- 12.11 改革特区、第2弾不調。省庁が“障壁”、応募ゼロ 12.12 AM4 YM4
- 12.12 （創需要／現場を歩く）風車から「市民」電力会社。特区テコに集積地へ 12.12 NM5
- 12.13 規制改革答申／壁崩すには意識を変えよ（社説） 12.13 MM5
- 12.13 特区に第三者評価。来年までに政府導入 12.13 NE2
- 12.25 「特区」効果狙い知恵絞り。来年度から申請開始。自治体、先端分野で続々。神戸市、再生 12.25 AM20
医療の拠点整備、企業の施設利用を拡大。富山県、新薬開発へ産学連携、国立大教員、役員
兼務も
- 12.28 株式会社の学校経営、文科省、容認を検討。規制緩和の流れに押され 12.29 TM1
NM30 AM2
- 12.29 学校経営、株式会社参入容認へ。改革特区、首相、省庁反対押し切る 12.30 YM1

2003年

1. 3 「バイオマス特区」、農水省、実現へ本腰。コスト面で企業進出は未知数 1. 3 AM8
1. 4 （教育特区、私の構想／自治体トップに聞く - 上 - ）群馬県太田市長・清水聖義氏。小中高 1. 4
一貫で英語授業。体育・芸術も外国人教員。市出資で私立校、裁量広く
1. 6 構造特区構想はや暗雲。省庁、「通達」に規制盛り込む動き。「特養ホーム経営は上場企業」 1. 6 MM2
など。抜け道を探して対抗
1. 8 構造改革特区、監督省庁、条件つける。推進室と折衝、新たな規制の恐れ。進展、第三者評 1. 8 AM4
価機関を導入、政府方針
- 1.10 （潮流2003）教育分野の構造改革特区／地域独自の学校像。官と民共に模索 1.10 YM17
- 1.11 （教育特区私の構想／自治体トップに聞く - 中 - ）杉並区長・山田宏氏／区立校に民間資本 1.11 NM25
導入。独自の教員任用権を。地域の特色生かす「藩校」（教育）
- 1.11 （子どもニュースウイークリー）構造改革特区／市町村の希望で規則なくす。できない仕事 1.13 YE11
できるように。夏までに第1号
- 1.13 改革特区／自治体の奮起を望む（社説） 1.13 AM3
- 1.13 動き出す構造改革特区。4月中にも第1号。自治体の提案が大半。北欧と韓国、着実に成果 1.13 NM18,19
- 1.13 構造改革特区、4月に「第1号」認定へ。今夏予定前倒し、関心高める狙い。（群馬・太田 1.14 MM2
市）「外国語教育」、（北九州市）「国際物流」が有力
- 1.14 カネ使わぬ創需要政策、観光・特区、視界は不良。首相に官・族の壁再び 1.14 NM2
- 1.15 特区2次募集、台東区は民営小中一貫校。教育・都市環境の提案多く 1.16 NM31
- 1.15 構造改革特区、「通達規制」を禁止。省庁の関与限定。政府方針。有識者らで評価委設置 1.16 MM1 AE2
- 1.15 省庁の規制上乘せ禁止。「構造改革特区」基本方針原案 1.16 YM2
- 1.15 変わり種特区、官に挑む。自治体・企業、2次募集に600件。教育・医療で突破口 1.16 NM3 AM3
- 1.16 構造改革特区、2次募集に649件。企業、法人の応募9倍に。教育参入希望多く。厚労省 1.17 MM2
抵抗で医療分野は低調
- 1.18 （教育特区、私の構想／自治体トップに聞く - 下 - ）八王子市長・黒須隆一氏／不登校生向 1.18 NM27
け小中一貫校／授業、習熟度別に対応。少子化で余った校舎活用（教育）
- 1.19 ユニークな発想を生かせ構造改革特区（社説） 1.19 NM2
- 1.19 特区骨抜き防げ。苦情窓口を内閣官房に設置 1.19 NM3

構造改革特区

2003年

- 1.19 (ニッポン紀行) 鹿児島県屋久島 / 豊富な水、電池の源。特区指定で区も後押し。電気分解で水素 1.19 NM29
- 1.20 特区二次提案、都市再生・医療目立つ。オフィスビル 住宅など 1.21 NM31
- 1.20 改革特区に651件。2次募集、民間提案9倍に。株式会社参入、「教育」増、「医療」は低調 1.21 AM4
MM5 NM34
- 1.21 どぶろく特区作りたい。政府2次募集、民間応募9倍増 1.21 YM2
- 1.21 特区の特養民間参入、自治体に判断委任 1.21 YM31
- 1.21 改革特区、省庁の通達禁止盛る。推進本部が基本方針決定 1.21 ME1 NE1
YE2 AE2
- 1.21 「特区」3段階評価。拡大・継続・廃止、規制緩和、効果私大で。政府基本方針 1.21 YE1
- 1.22 構造改革特区 / 官庁や圧力団体の排除がカギだ (社説) 1.22 YM3
- 1.22 構造改革特区 / ひるまず提案しよう (社説) 1.22 TM4
- 1.23 改革特区、説明会日程決まる 1.23 MM5
- 1.23 特区攻防、第二幕。医療分野、抵抗強まる。政府、年2回提案募り特区法拡充 1.23 NM7
- 1.23 株式会社による学校設置、情報公開や外部評価前提。文科省検討。破たん時、学生救済も 1.23 NE18
- 1.24 省庁の独自規制禁止指針を決定。構造改革特区 1.24 ME3 NE2
- 1.25 セグウェイで歩道スイスイ!? 政府が改革特区検討。成田空港周辺など限定で道路交通法緩和。今国会提出も 1.25 MM2
- 1.25 特区への「同意」、原則、無条件で。省庁の規制排除 1.25 NM5
- 1.28 国際港湾特区を申請へ。都、認定第 号目指す 1.28 NM35
- 1.28 特区推進室が苦情窓口設置 1.28 NE2
- 1.28 改革特区提案に前向き回答2割。省庁の抵抗浮き彫り 1.29 AM4
- 1.28 「カジノ特区不可」。第2次提案、各省庁が回答 1.29 NM2
- 1.29 構造改革特区、VBから提案。専門職の大学院。公的施設に保育所 1.29 NM15
- 1.29 特区での株式会社参入、教育34件OK、病院経営NO 1.30 NM1 AM2
- 2. 1 特区2次募集、各省庁回答出そろ。株式会社、福祉参入3件のみ 2. 1 MM5
- 2. 3 「特区」評価委、7月にも発足。省庁側は戦々恐々 2. 3 YM4
- 2. 3 特区への対応、再検討を要請。「難色」省庁に推進室 2. 4 AM3
- 2. 4 教育特区 / いろんな学校を試したい (社説) 2. 4 AM2
- 2. 6 特区2次提案、農水ゼロ回答。際立つ消極姿勢 2. 6 NM5
- 2. 6 構造改革特区議論は平行線。省側が猛反発 2. 7 AM2
- 2. 7 「どぶろく」「カジノ」特区案ダメ。省庁反対、8割実現困難。第2次提案回答 2. 7 YM4
- 2. 7 「カジノ、特別法なら」。法相が容認示唆。特区構想は否定 2. 7 YE1
- 2. 7 改革特区、実現に溝。作業部会の意見交換会、省庁側「規制は必要」 2. 8 AM4
- 2.12 構造改革特区第1号4月中旬誕生 2.12 YE2
- 2.12 改革特区実現を閣僚に首相指示 2.13 AM4
- 2.13 外出手助け「移送サービス」。マイカー利用なぜだめ? 市民団体が反発 2.13 YM19
- 2.13 病院への会社参入、「特区も慎重に」。坂口厚労相 2.13 AE2
- 2.13 病院経営への株式会社参入、厚労省との対立過熱。特区担当相、予算委で批判 2.14 MM5
- 2.13 特区「実施可能」3割。二次提案、省庁の消極性目立つ 2.14 NM2
- 2.14 株式会社の病院経営など7項目、早期実現要望へ。諮問会議民間議員 2.14 AM2
- 2.14 地方公務員、勤務形態を弾力化。特区相と総務相合意 2.15 YM2
- 2.14 特区実現へ「指導力を」。鴻池担当相が官僚抜き折衝、4閣僚に奮起促す 2.15 MM2
- 2.14 「幼・保」職員兼務も。厚労省試行、特区の併設施設で 2.15 AM2
- 2.14 保育・幼稚園児、合同保育認める。改革特区大臣折衝 2.15 NM7
- 2.16 カジノ特区、実現は困難。鴻池担当相 2.17 TM2
- 2.16 構造改革特区、医師・看護師の派遣解禁。厚労相検討。不足緩和に限り 2.17 AM1 YM2
TM2
- 2.16 地方公務員勤務、弾力化を検討。改革特区担当相 2.17 MM2

2003年

- 2.17 「特区攻防」激化。病院への株式会社参入問題、長野初名乗り。厚労省、医師会、「質の低下招く」。改革会議担当大臣、「風穴開けたい」。「議論のかやの外」、患者側不満も。田中知事語る「患者に選択権を」 2.17 AM2
- 2.17 農地取得、面積下限を緩和。特区構想、就農規模増に対応 2.17 ME1
- 2.17 「特区、全部実現の気で」。経済財政諮問会議で首相、閣僚に指示 2.18 AM1,3
- 2.17 特区構想、「小規模農地」容認へ。農水省が方針転換 2.18 YM9
- 2.17 農地取得の下限面積下げ。規制緩和で諮問会議方針。特区で就農推進 2.18 TM3
- 2.18 国立公園内での風力発電新基準。特区対応で環境省 2.18 AM3
- 2.18 特区法改正/株式会社の参入拡大が課題(社説) 2.18 YM3
- 2.18 諮問会議、医療機関への株式会社参入、特区内で実現めざす 2.18 NM3
- 2.18 特養ホームへの株式会社参入、全国で解禁検討。厚労相、特区に限らず 2.18 NE2
- 2.18 夜間大学院生に在留資格を付与。外国人留学生、特区で 2.19 YM2
- 2.18 対日投資会議で首相、特区活用など4項目を指示 2.19 TM3
- 2.19 警察庁、ロボット歩行、特区で認める 2.19 AM2
- 2.19 京浜臨海部に「総合保税地域」、神奈川県が整備。特区の一環、民間資本活用。羽田国際化にらむ 2.19 NM35
- 2.20 「何で文科省ばかり」。構造改革特区、遠山氏が逆切れ。大臣折衝の裏舞台。坂口氏はのりくらり 2.20 MM2
- 2.20 農地取得の下限、10アール以上に緩和。「特区」構想で農水省 2.21 MM9
- 2.20 「どぶろく」提供、規制緩和を検討。特区内、財務省方針 2.21 AM2
- 2.20 改革特区、「幼保連携」実施へ。厚労省方針、担当相らと最終調整 2.21 AM2
- 2.21 NPO学校参入、一部委託容認 2.21 YE2
- 2.21 特区で厚労相、人材会社による医師ら派遣、前向き姿勢 2.21 AE2
- 2.21 不登校適応教室、NPO委託可能。文科省、「特区か一律か」は未定 2.22 AM3
- 2.21 特区巡る調整に首相指示の姿勢 2.22 AM4
- 2.21 構造改革特区、「どぶろく特区」容認へ。難航分野、26日に首相裁定 2.22 MM2
- 2.23 (ニッポネンシス/日本病を断つ/特区攻防-上-)改革の意欲、地方に芽吹く。教育や福祉、企業誘致…。自治体は自分の頭で考える 2.23 NM1
- 2.23 特区提案、省庁7割拒否。2次募集、1次の倍近く 2.24 AM1
- 2.24 (ニッポネンシス/日本病を断つ/特区攻防-中-)霞が関の常識、創意を拒む。官の矛盾つく官。「内なる危機感」は広がるか 2.24 NM1
- 2.25 NPOの学校設立容認。不登校児など対象に限定。改革特区で文科省方針 2.26 MM1 YM2
TM6
- 2.26 構造改革特区で学校参入。NPO法人を容認。文科省、分野は限定 2.26 NE22
AE1
- 2.26 医療分野、隔たり大きく。改革特区の最終調整。株式会社の病院経営、結論持ち越し。NPOの学校容認、文科省が「白旗」。文科省方針、特区の学校設置認可権限、市町村に移譲へ 2.27 MM3
- 2.26 特区の医療分野、株式会社参入、3者協議、平行線 2.27 NM5
- 2.27 悔い残す構造改革特区の第二次募集(社説) 2.27 NM2
- 2.27 改革特区、企業の病院参入解禁。全額自己負担診療に限定 2.27 TM1 NM1
MM1 AM1
- 2.27 構造改革特区第二次募集実施項目決定。メンツ優先、首相強硬。改革の象徴、指導力演出 2.28 NM2 MM2
YM4 AM3
- 2.27 特区骨抜き、実現小粒。医療参入、課題残す。先端分野などに効果限定。幼稚園・保育所を合同運営/どぶろく解禁。厳しい条件、自治体不満 2.28 NM3
- 2.28 構造改革特区/首相は認定権限を振り回せ(社説) 2.28 MM5
- 3.1 特区「実現率」27%。半歩か一步、動いた。規制改革会議、宮内議長に聞く 3.1 AM4
- 3.1 「改革特区」首相は粘ったが(社説) 3.1 NM2
- 3.1 改革特区/鴻池担当相に勧告権を(社説) 3.1 AM2

構造改革特区

2003年

- 3. 2 特区制度改正 / 中途半端な株式会社の病院経営 (社説) 3. 2 YM3
- 3. 3 対日直接投資、壁厚く。手続き複雑・基準あいまい・役所の権限保持。かすむ首相の倍増目標。自治体、特区で誘致模索。省庁、見直しに重い腰 3. 3 AM6
- 3. 3 構造改革特区 / 風穴はあいたけれど (社説) 3. 3 TM4
- 3. 3 財務省、どぶろく製造の数量条件を撤廃。特区外販売に制限 3. 3 NM3
- 3. 3 構造改革特区、1次認定に189件の希望 3. 4 MM5 AE2
- 3. 4 医療規制改革の検討会設置表明。特区問題で厚労相 3. 5 TM3
- 3. 6 「株式会社病院・学校」を“解禁”。消費者主権、確立へ突破口 (ニュースなるほど) 3. 6 NE3
- 3. 6 構造改革特区構想 / 敵は中央官僚の権益意識。地方の発想を生かせ (記者の目) 3. 6 MM4
- 3. 6 教育の特区に「危惧・懸念」自民橋本派総会 3. 7 AM4
- 3. 7 特区法改正案の了承持ち越し 3. 7 NE2
- 3. 7 特区改正案、族議員が反発。「条文の議論足りない」「米国の実態知っているのか」自部会 3. 8 YM4 NM5
- 3. 9 統一選へ実現掲げる市長 / 企業参入意欲。「特区1号」先陣争い。前倒し効果。あすから事前調査 3. 9 YM4
- 3. 9 構造改革特区 / ステップ1・そもそもは? 楽市楽座の現代版。ステップ2・どうして? 地方の工夫生かす。ステップ3・これからは? 中央官庁との戦い 3. 9 NM18
- 3.13 医療改革へ保険外診療併用。川島康生国立循環器センター名誉総長 (論点) 3.13 YM13
- 3.13 特区法改正案を了承、自民党構造改革特区推進特命委。18日にも閣議決定 3.14 NM2
- 3.14 「株式会社病院」容認は妥当。八代尚宏日本経済研究センター理事長 (論点) 3.14 YM15
- 3.18 構造改革特区、骨抜きへ族議員、省庁動く。法改正案、きょう閣議決定。規制緩和の実効性「?」 3.18 YM4
- 3.18 特区法改正案を政府が閣議決定 3.19 AM4
- 3.22 米の公立学校運営株式会社 / 高度な学力向上策作る。経済性・効果は不透明。成否、詳細な請負契約次第。文京学院大教授・鶴浦裕 (教育) 3.22 NM19
- 3.28 規制改革推進に公取委強化盛る。再改定を閣議決定 3.28 AE2 NE2
- 3.29 特区申請、1日開始。一般企業の農業参入など。20日ごろ一号認定 3.29 TM9
- 3.30 「教育特区」にNPOや株式会社。新しい学校へ動き加速。フリースクール、社会的な認知期待。学習塾、理科重視の小中一貫校 3.30 AM10
- 3.30 保税地域、指定基準を緩和。関税なしの加工貿易促進 3.30 NM1
- 4. 1 構造改革特区申請スタート。100自治体が事前予約 4. 1 TE2 YE2
- 4. 1 東京都、国際港湾特区きょう申請。東京湾の競争力向上 4. 1 NM39
- 4. 1 神奈川県、新エネルギー普及など特区3県を申請 4. 2 NM33
- 4. 1 特区申請、初日39件。相次ぐ地域経済浮揚策 4. 2 AM2 TM3
NM3 YM2 MM2
- 4. 2 新潟 / 「観光交流特区」構想が浮上 4. 2 NM33
- 4. 2 酒販売で「逆特区」。衆院委法案可決。新規参入、1年認めず 4. 3 AM2
- 4. 3 規制改革会議、建前論で官抵抗。株式会社の農地所有「不法投棄が心配」??。特養ホーム開放には「利用者保護が...」 4. 4 TM9 AM2
- 4. 3 特区構想「すぐに展開可」。政府推進室室長が方針 4. 4 AM4
- 4. 6 酒「逆特区」、これはやりすぎだ (社説) 4. 6 AM2
- 4.10 特区1号に52件。政府方針、大幅に増 4.10 AM4
- 4.10 (とれんど) “規制逆行特区”の思惑。論説委員・南条俊二 4.10 YM13
- 4.10 外国語、ITなど52件。構造改革特区、1次認定の全容判明 4.10 YE2
- 4.13 (特区をゆく) 英会話 / 埼玉県新座市。全小中学校で週1時間 4.13 AM8
- 4.14 (教育の森 / 何が変わる改革特区 - 中 -) 自治体 / 勉強の遅れ取り戻す。来春開校へ手探りで準備。望めば既設校復帰も。NPO / 「子供中心」目指す。フリースクール経営の実績生かし。要件巡り国と隔たりも 4.14 MM8
- 4.14 構造改革特区、初申請は111自治体129件。政府まず50件認定 4.15 TM8

2003年

- 4.15 (いまこの人に/地方の重い具現/構造改革特区担当相・鴻池祥肇さん(62))“霞が関に風穴”できますか。医療重点に先行変革も 4.15 TM8
- 4.16 改革特区、第1弾57件。首相了承、21日認定。北九州、通関を24時間化。群馬・太田、外国語一貫教育 4.16 NM1 TM1 AM2
- 4.17 改革特区、小粒を量産。57件発表、地域間で競争促す 4.18 NM3,5 AM12 TM9
- 4.17 特区に水差す酒販店規制。消費者置き去り、競争力そぐ(ニュースなるほど) 4.18 NE3
- 4.17 不登校児の教育・国際港湾の充実・農業に企業参入。構造改革特区57件を発表。5月中旬に第2弾 4.18 TM1 NM35 YM3
- 4.18 特区第1号57件認定/規制に「風穴」、広げられるか。「町おこし程度」の見方も(時時刻刻) 4.18 AM3
- 4.18 病院経営、「特区」で株式会社に解禁、診療の質を競うこと期待(解説部) 4.18 YM15
- 4.18 商機あり外資も意欲。医療などへの参入視野。既得権『風穴』にも効果 4.18 TM8
- 4.21 特区57件が正式誕生 4.21 TE2
- 4.21 「日本を変えるという視点」。特区57件、首相が認定書。米、医療特区の実現要望 4.22 NM2
- 4.22 もっと迫力ある特区を(社説) 4.22 NM2
- 4.27 (特区をゆく)小中高一貫/神奈川県横須賀市。公立の空き校舎、私学に貸す 4.27 AM9
- 5.3 道見えぬ規制緩和12項目。改革会議、最終調整へ。各省、特区「盾」に抵抗か 5.3 AM2
- 5.4 厚労省が特区に二の足。医療分野への株式会社参入、推進室は疑心暗鬼に 5.3 MM3
- 5.4 (真説異説)構造改革特区担当相・鴻池祥肇氏/構造改革特区そろり始動の舞台裏。“竹光”で真剣に挑む覚悟 5.4 NM28
- 5.4 動き始めた「構造改革特区」。広がれ!!現代の楽市楽座。規制をゆるめて、地域に活力を。「もうけ主義に走るのでは」警戒の声も 5.4 AM28
- 5.4 特区をゆく/英語教育・滋賀県長浜市。全市立小に外国人講師 5.4 AM8
- 5.9 規制改革に集中月間。総合規制改革会議と構造改革特区推進室が連携強化 5.9 NM2 AM11
- 5.11 株式会社、全国で農業参入。農地賃借、特区方式を拡大。農水省、2005年メドに法案 5.11 NM1
- 5.11 (けいざい読解・解説)教育特区に見えざる壁。選択肢狭める補助金行政 5.11 NM3
- 5.11 (特区をゆく)英語教育/群馬県太田市。小中高一貫、英訳教科書使う 5.11 AM8
- 5.12 ITビジネス、バイオ研究、改革特区、第2弾内定。23日認定 5.13 NM1
- 5.15 混乱続く「介護タクシー」。国交省と厚労省の許可の判断でズレ。通院介助、断念の例も。対応分かれる自治体。「特区」で実験、ルール作りへ 5.15 AM19
- 5.15 教育改革、特区が背を押す。中教審諮問。文科省にも危機感。実現性は未知数 5.15 NE15
- 5.15 鴻池特区相「株式会社で学校も」。東海の中高一貫校巡り提案 5.16 AM12
- 5.16 NPO学校経営認定へ。特区法改正案、衆院委で可決 5.17 MM2
- 5.19 特区第2弾に60件。政府方針、申請の9割認定へ 5.19 AM2
- 5.19 パソコン通信で不登校児に授業。構造特区、60件2次認定 5.19 YE2
- 5.19 特区第2弾、政府、きょう決定。産学連携・教育など60件 5.20 NM7 YM4 MM2,5
- 5.20 特区第2弾、教員独自採用、申請は「4勝5敗」 5.21 AM30
- 5.20 特区2弾、1都3県で13件。都内から2件。世田谷区、福祉向け移送。荒川区、小学校で英語 5.21 NM35 AM27 YM30
- 5.20 改革特区第2弾を発表。教育関係が14件 5.21 NM7 TM9
- 5.20 特区めぐり舌戦。文科相「認定漏れ、理解できぬ」。特区相「何もわからぬくせに!」 5.21 YM4
- 5.20 特区すべて認定も。改革推進室「趣旨に沿えば」 5.21 MM5
- 5.21 特区で食用ダチョウ飼育。農業VBのオーストリッチヒル。農協から農地、今夏出荷 5.21 NM15
- 5.22 特区法改正案が衆院通過 5.22 NE2
- 5.23 構造改革特区第2弾60件に認定証 5.24 NM5 AM4
- 5.23 構造改革特区を米企業に『勸奨』。日米規制改革報告書で 5.24 TM7

構造改革特区

2003年

5.26	(特区をゆく)単位の認定/宮城県。学外活動など30本単位まで拡大	5.25 AM9
5.26	特区相VS厚労省、「企業の病院」めぐり溝。特区相、自由診療、条件なし。厚労省、高度先進医療に限定	5.26 AE1
5.27	構造改革で可能となった「企業病院」、「先端医療」限定の方針伝える。厚労省	5.28 AM2
5.28	構造改革特区/乱発?それとも楽市楽座。既得権益崩す「実験」。中央省庁「腹が痛まぬ程度に」。工夫凝らす、各地の特区	5.28 MM10
5.28	諮問会議基本方針、特区など重点7項目。民間議員、「保険料率18%以下に」	5.29 YM2 AM4
5.29	「農業特区」始動。今夏にも企業参入本格化。リース方式、全国拡大も	5.29 NM5
5.29	法定通りに行かなければ...首相か厚労相はどちらか辞任を。株式会社の病院参入で鴻池担当相、「私も腹を切ります」とも。	5.30 AM4
5.30	「どぶろく特区」など改正法成立	5.30 ME3
5.30	「違う方向のこと言う部下を注意しない!」。株式会社の病院参入で特区相、首相らに矛先	5.31 YM4
6.1	(特区をゆく)IT活用/福島県会津若松市。小5、小6対象に英語科	6.1 AM8
6.3	改革特区での病院経営参入、「先端医療と形成外科」。厚労省方針	6.4 YM4
6.3	自由診療へ企業参入。「形成外科も」。厚労相が示唆	6.3 AE2
6.6	混合診療こそ特区で試せ。「株式会社」より重要。効率性以外も幅広く実験。河口洋行国際福祉大学助教授(経済教室)	6.6 NM29
6.6	審議会初、公募で人選。特区評価委、全体の3割	6.7 NM4 AM4
6.10	(点検/「特区」-1-)雇用創出(東京・足立区)/官民で求人情報共用。民間参入になお規制の壁	6.10 NM39
6.11	(点検/「特区」-2-)地域福祉(神奈川・大和市)障害・高齢者の外出手助け、事業免許なしで有料送迎	6.11 NM35
6.11	規制改革会議、「譲れぬライン」提出。医療など12項目、安易な妥協阻止へ	6.11 AE2
6.12	(点検/「特区」-3-)棚田農業(千葉・鴨川市)/都市住民に貸し出し交流。農村回帰、定住の一步に	6.12 NM39
6.12	株式会社病院参入、特区、高度医療のみ	6.13 AM3
6.13	(点検/「特区」-4-)ワイン(山梨県)/ワイナリー自らブドウ栽培。国産の品質向上に期待	6.13 NM39
6.13	企業の病院経営、先端医療に限定。特区で厚労省案	6.13 NE2
6.13	都道府県に開設、許可権付与通知。病院への会社参入	6.13 ME3
6.13	動き出す教育特区、育ちの場、多様化へ試み。東京都八王子市、不登校向け小中一貫校、個別に学習計画。徳島県海部町、「ふるさと教員」制度、助教員も担任に(ニューウエーブ教育)	6.13 NE15
6.13	病院経営参入、高度先端医療に限定案、鴻池特区相が反発	6.14 YM4
6.13	株式会社の医療、教育、農業、福祉参入。規制改革で政府、半の結論先送り	6.14 TM1
6.13	特区表会員の論文テーマ決定。鴻池担当相	6.14 AM4
6.14	「答申」へ首相の顔が見えない(社説)	6.14 YM3
6.16	会社の病院経営、高度医療限定を否定。首相、医師会と「約束ない」	6.17 AM4
6.17	(点検/「特区」-5-)国際理解教育(埼玉県・戸田市)。外国人による小学校英語授業。成果の判断基準が問題に	6.17 NM37
6.17	特区評価委7人を決定。委員長に八代尚宏氏	6.18 AM4 NM2
6.17	郵政公社も「特区」導入へ。IT活用、サービス充実	6.18 TM9
6.18	(点検/「特区」-6-)不登校対策学校(東京・八王子市)。学年の枠なく習熟度別に。体験学習、心の支援も	6.18 NM35
6.19	(点検/「特区」-7-)国際空港(東京・横浜港)通関業務の時間延長。香港・シンガポール追撃	6.19 NM39
6.20	株式会社参入、「高度医療」に限定。厚労相と特区担当相一致	6.20 ME1 YE2 AE1
6.21	輸出入申告、夜間・休日認める、財務省。横浜港などの税関で	6.21 NM4

2003 年

- | | | |
|------|--|-------------------|
| 6.21 | 東京湾、片道30万円、釜山の5倍。水先料金巡り攻防。都、大幅な値下げ要望。国交省、「安全優先」譲らず | 6.21 AE1 |
| 6.22 | (特区をゆく)ふるさと教員・徳島県海部町。郷里の良さ知る授業に広がり | 6.22 AM8 |
| 6.23 | 再生医療など5分野。「特区」株式会社参入指針 | 6.24 YM2 |
| 6.24 | (ドキュメント/挑戦/首長が拓く...)群馬県太田市 - 下 - 英語教育特区。国際人養成のモデルに | 6.24 NE5 |
| 6.26 | 病院経営への株式会社参入範囲、政府、5分野を明示 | 6.26 AE1 |
| 6.27 | 構造改革特区、病院経営参入で5項目例示 | 6.27 NE2 |
| 6.29 | (特区をゆく)岩手県一関市/幼稚園早期入園。待機児減らすのに一役 | 6.29 AM8 |
| 6.30 | 市長など廃止、特区案提出へ。埼玉・志木市 | 6.30 NE22
AE22 |
| 6.30 | 認定特区、実現へなお課題。VBなどに商機の芽。規制緩和さらに必要。使い勝手、不満強く、融通や自助の道探る | 6.30 NM30,31 |
| 6.30 | 市長いない。埼玉・志木市が特区申請。対応遅い教委もいない | 7.1 TM31
YM38 |
| 6.30 | 千代田区、教育委員会の設置自由化を。構造改革特区で提案 | 7.1 NM39 |
| 6.30 | 東京港で追加提案、特区で都。動植物検疫、夜間も | 7.1 NM39 |
| 7.1 | 特区第3次提案、279件応募 | 7.1 YE2 |
| 7.1 | 「融資枠契約特区を大阪に」。三井住友銀が提案。中小企業に、利用解禁を | 7.1 NM4 |